

学習院

2026年度
学校案内

高中
等等科



Since 1877

2027年 学習院は創立150周年を迎えます



集い 出会い 研き合い

学習院中等科・高等科 科長 高城 彰吾

学習院は歴史ある学校で、弘化4年（1847年）、京都に開かれました。明治10年（1877年）、東京・神田錦町に改めて開設され、150年近くの歳月、社会のリーダーを輩出し続けて来ました。今日、学習院は幼稚園から大学院までの学齢に応じ、その時期に身に付けるべき素養と社会に貢献する多様な個性を、一貫した理念に基づいて育てています。その理念は、「ひろい視野 たくましい創造力 ゆたかな感受性」という3つの言葉に集約され、学習院の教育を表現するものとして関係者の間で折に触れ語られています。

中等科・高等科は人格の幹を作る大切な時期を担っています。大勢の仲間が集う場で、皆さんは自分と異なる人たちの存在に気づき、それまで持ちえなかった知識に

触れることで「ひろい視野」の大切さを知りましょう。そして、新しい出会いから得られるさまざまな知識と経験を受け容れるなかで「ゆたかな感受性」が育まれていくのです。さらに、このようにして自分のものとした知識・考え方を基に、ここに集い出会った個性豊かな仲間たちと共に「たくましい創造力」をもって、それまでなかった新しい主張を創り出してゆくことが望まれています。学校は生徒が集い、出会い、研き合う場です。中等科・高等科で学んだものを糧として、その後はより専門的な知識・技能を身に付け、さらには社会の各方面に進んで、大いに活躍して欲しいと思います。多くのことを学び合い、共に3つの言葉を実践して行こうではありませんか。





CONTENTS

教育理念●P2

中等科・高等科 科長の言葉

教育方針●P4-5

「ひろい視野」「たくましい創造力」「ゆたかな感受性」

カリキュラム●P6-9

成長に寄り添う学び
教育課程(時間数)／選択別時間割例

スクールライフ●P10-11

中等科・高等科の主な年間行事・校外教育

学校施設●P12-13

中等科・高等科の施設紹介

キャンパスマップ・アクセス・歴史●P14-17

中等科・高等科へのアクセス・歴史

課外活動●P18-19

中等科・高等科の運動部・文化部・同好会

国際交流●P20-21

留学制度や国際交流について

進学●P22-23

中等科・高等科の進学状況

連携・Q&A●P24-25

生徒と教職員と家庭の連携／学習院Q&A

INFORMATION 2026年度●P26-27

2026年度学校説明会など／中等科・高等科のホームページ

教育方針

「ひろい視野」「たくましい創造力」「ゆたかな感受性」

中等科と高等科では、それぞれの年代の特性を踏まえて指導を行います。中等科では、生活の基礎を築き、より丁寧な指導を通じて基礎的な価値観を育みます。高等科では、より自立した学びを促し、自由と責任を重んじた教育が行われます。生徒一人ひとりの個性を尊重し、自分らしく充実した人生を歩む力を育てることを目指しています。



中等科の教育目標

中等科では、義務教育の過程にあって私学としての特色を出そうとしています。それはそれぞれの個性の芽を見出し、育て、開花の準備をさせることです。人はそれぞれの違った個性を持っています。しかしながら義務教育の過程において自分の個性を見つけるのはなかなか難しいものです。中等科では生徒一人ひとりに個性の芽を見つけ、育て、開花の手伝いをするにその目標を置いています。それは授業だけにとどまりません。学校行事、学年行事などの校外学習や部活動を含め学校生活全般に細かい目が行き届いています。

学習面では高等教育を見据え、基礎学力の充実に力を注いでいます。基礎学力とは、単なる基礎的な知識ではありません。すべての学問の基礎となる学力のことです。そのために英語、数学においては分割授業の時間を設け、より一層きめの細かい授業を心がけています。理科においては、単なる理科の授業ではなく、物理、化学、生物、地学、それぞれの専門の教員が、専用の施設で実験を重視した授業を展開しています。

また、豊富な運動施設を使って、色々なスポーツに取り組み、全面的な体力、技能の向上を図っています。

個性の芽を育む教育、それが中等科の教育です。



制服

海軍尉官の服装がモデルとなり、1879年(明治12年)に制服が定められました。学習院は、日本で最初に学生の制服を定めました。制帽の着用は自由です。

高等科の教育目標

高等科では、生徒たちは自由を謳歌しつつ、その中で責任を果たすことを学びます。表面的な自由だけでなく、精神的な自由も尊重され、自らの価値観や考えを形成し、表現することが奨励されています。異なる意見を交わし合い、互いに理解を深めることで、多様な視点を持つ豊かな人格を育みます。

部活動においては、同年代で協力するだけでなく、高等科生が中等科のクラブのコーチを務めることもあります。一方で大学の部活動と合同で活動する機会もあり、幅広い年齢層との交流をすることで様々な人間関係を学

びます。また、生徒会活動や一部の学校行事の実行委員会では、生徒が主体となって企画・運営を担います。そのような生活を通して、教員の想像を超えて傑出した生徒が現れることも珍しくありません。指導するというよりは、成長を支え、ときには見守ることに徹するのも高等科の文化です。

さらに、高等科の特色として、卒業生が頻繁に母校を訪れることが挙げられます。成長した姿を見せに来る者もいれば、進路や人生の悩みを相談しに来る者もいます。教員と生徒の関係は、卒業後も続くのは通例で、刺激を与えてくれる一人の大人へと成長することを教員も楽しみにしています。

カリキュラム

成長に寄り添う学び

本校のカリキュラムは、年代に応じた学びを重視して設計されています。中等科では基礎をしっかりと固め、高等科では深い学びや横断的・探究的な学びへと広がっていきます。一方で、どの年代においても、クラス内が多様な価値観や考え方の交わる場となることを歓迎しています。



中等科：広がる学びの土台

中等科では、義務教育の範囲内で学習が進められますが、必要に応じて発展的な内容にも取り組み、生徒の理解を深めていきます。意識した先取り教育は行いませんが、自然な形で高校の授業内容に踏み込んだものとなっています。授業では、検定教科書に加えて、教員が独自に編纂した教科書や教材を使用し、より実践的で深い学びを提供します。例えば数学や英語では、少人数クラスに分け、20人程度のグループで指導を行います。個々の理解度に応じた丁寧な授業を行い、取りこぼしのないように細かくサポートしています。また、理科

では、物理・化学・生物・地学の専門教員がそれぞれ担当するなど、専門性の高い指導が行われます。このようなアプローチにより、生徒一人ひとりの理解を確実に深め、成長を支援します。

高等科：自分に合わせた学びの開拓

高等科の1年生ではまず、全ての生徒が同じ教科・科目を万遍なく学ぶことから始めます。2年生から始まる選択授業を自分の関心と責任で選ぶために、あらかじめ広い分野の学習をしておくことが大切だからです。中等科では「いわゆる先取り教育」をしない分、高等科入試による入学者も、戸惑うことなく学びを進められるよう



になっています。中学の既習範囲も必要に応じて復習します。

2年生以降は、進路志望や興味に基づいた選択授業が選べるようになります。選択科目は多岐にわたり、各教員が専門的な知識と価値観を反映させた個性的な授業を行っています。例えば、2年生の総合的な探求の時間では、教科の枠を超えた授業が展開され、工夫を凝らした内容が提供されます。各界の最先端の実践者と接する贅沢な機会も多く見られ、生徒は自らの興味や好奇心を追求することができます。

本校のカリキュラムはコース制を採用していない分、選択科目を選ぶ上での個人の自由度が高く、特定の科

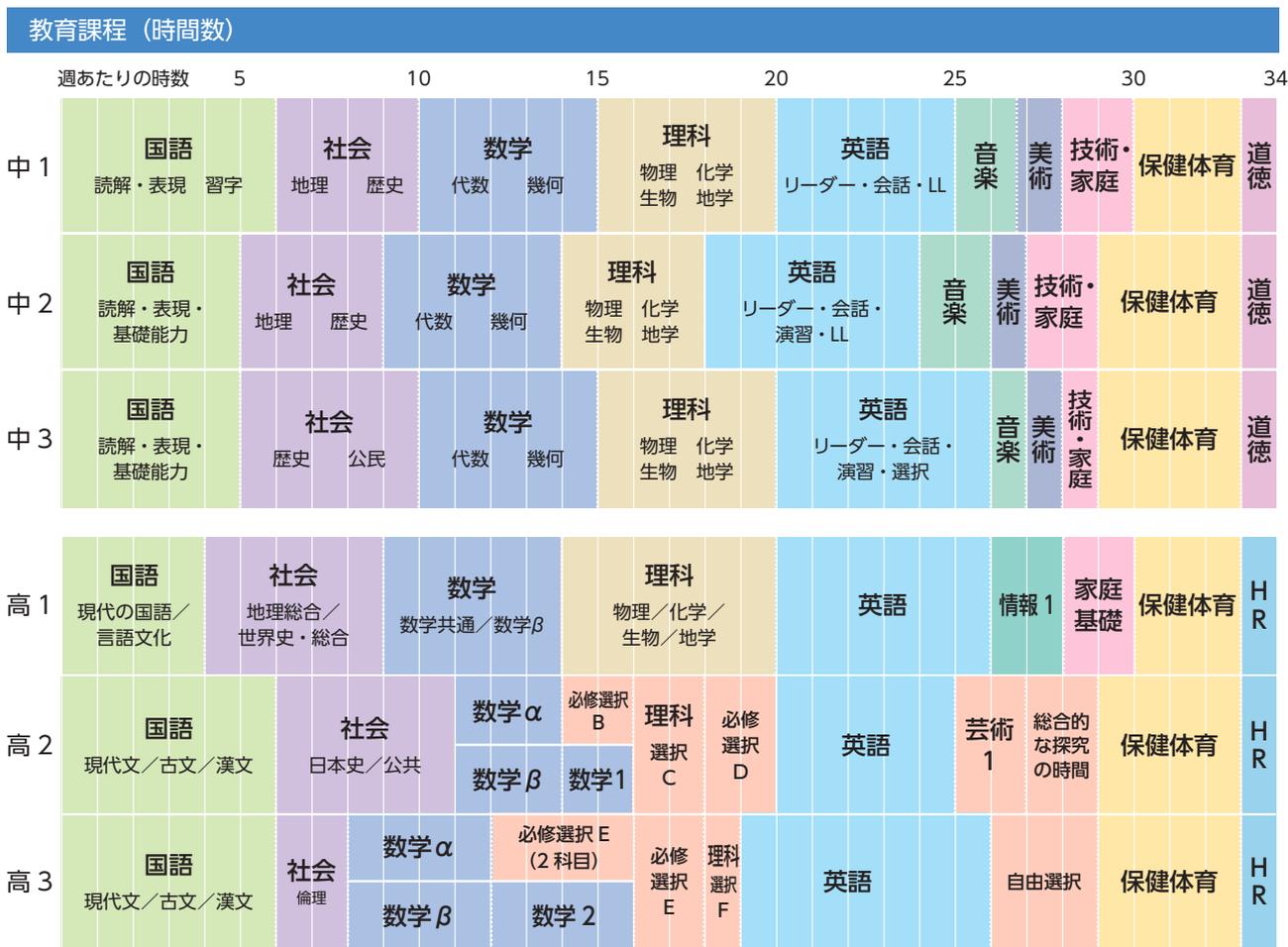
目に時間をかけることも、幅広く学ぶことも可能になります。英語が得意な生徒はさらにハイレベルな英語を学べる一方、文系の進路を考えていながら、化学の実験に取り組む生徒もいます。3年生では豊富な選択肢の結果、授業に空きが生じる生徒もあり、中には学習院大学の授業を受けに行くという選択をする生徒もいます。

以前より本校では、本質的な学びを重視してきました。これは近年の大学受験での思考力を問うような傾向と方向を異にしません。中等科も高等科も、教員自身が研究をすることを奨励している文化に裏付けられていることも特徴的です。本校での学びは、受験だけでなく大学進学やその先の人生にも生かされるものです。

カリキュラム

教育課程(時間数)／選択別時間割例

中等科、高等科6年間の学習がどのように進んでいくか、大まかな流れを紹介します。文部科学省の定める学習指導要領に基づきつつも、本校における独自性が盛り込まれています。



※高等科の教育課程は、2022年度からの新教育課程を掲載しています。
 ※高等科2年の総合選択は、この他に1単位分設けられています。
 ※高等科3年は、選択科目数によって履修・修得単位数が変わります。

●高等科2・3年《選択科目》

選択B	選択C	選択D	選択E				選択F	自由選択	芸術1
地理1	物理1	古文1	地理1	古文2	地学2-2	英会話1	物理2-1	芸術1	書道1
日本史1	化学1	漢文1	地理2	漢文2	数学演習1a	英語2b	化学2-1	芸術2	音楽1
世界史1a	生物1	中国語1	日本史1	小論文1	数学演習1b		生物2-1	体育1	日本画1
世界史1b	地学1	独語1	日本史2	物理1	情報2		地学2-1	選択E, F	西洋画1
選択C		仏語1	世界史1a	物理2-2	中国語1				工芸1
		英語1a	世界史1b	化学1	中国語2				
		英語1b	倫理1	化学2-2	独語1				
		情報1	政経1	生物1	独語2				
		選択B, C	社会科演習1	生物2-2	仏語1				
から1	から1	から1	古文1	地学1	仏語2	から1	から0~3	から0~2	から1

選択別時間割例

●中等科1年生の時間割例（1学期）

中1	月	火	水	木	金	土
1	国語	英語 R	地理	家庭	生物	技術
2	幾何	物理	国語	保健体育	保健体育	地学
3	国語	代数	物理	代数	幾何	習字
4	保健体育(水泳)	歴史	国語	道徳(HR)	化学	地理
5	英語 R/会話	美術*	英語 R	国語	会話/英語 R	
6	音楽	美術	代数	英語 LL	歴史	

* 2・3学期は、美術の授業1時間が音楽の授業に変更になります。

●高等科3年生【社会科学・人文科学系志望者】の時間割例

高3	月	火	水	木	金	土
1	保健体育	英論表 3	古文	社会科 演習 1	漢文	現代文
2		現代文	英 3		英論表 3	倫理
3	EC	数 α	中国語 2	英必選択	保健体育	数 α
4	HR	数 α				英 3
5		古文 2	情報 2	現代文	古文	
6			小論文 1	倫理	数 α	

●高等科3年生【理工・医歯薬系志望者】の時間割例

高3	月	火	水	木	金	土
1	保健体育	英論表 3	古文	数 2	漢文	現代文
2		現代文	英 3		英論表 3	倫理
3	EC	数 β	化学 2	英必選択	保健体育	数 β
4	HR	数 β				英 3
5		物理 2	物理 2	現代文	古文	
6		化学 2		倫理	数 β	

■ 高等科選択授業
(高等科2・3年で実施。月5・6時限、火5・6時限、水3・4・5・6時限、木1・2時限)

■ 少人数クラス編成授業
(中等科・高等科とも数学と英語で実施)

高等科 総合選択科目 講座一覧 2025年度

散歩から観光学を考える
俳句の創作と鑑賞
能楽を観る・知る・体験する
ビジュアルから古典を学ぶ
通史でない世界史「海から見た世界史」
暴力の倫理学
博物館を知ろう
Critical Reading and Discussion
ハングルを学ぼう
英語プレゼンテーション実践
自動車産業の現在、過去、未来 ～ History and Future of Automobile ～
ランドスケープアーキテクチャ入門
フランス文化入門
声に出して覚えるドイツ語
生命科学 入門 映像による、遺伝子科学・脳と心・生命進化
理科系ライティング演習
体脂肪を燃やそう
写真を撮る・見る
ミステリーと数理論理学

教員より



中等科
教務課長
土屋 良太

中等科の時間割には数学はありません。社会も理科もありません。数学、社会、理科の授業をやらないのではありません。数学は代数と幾何の科目に分けて授業をします。社会は地理と歴史と公民に、理科は物理と化学と生物と地学に分かれます。それぞれの科目を様々な教員が担当します。科目ごとに専門の教員が担当することで、より詳しく、わかりやすく授業を進めることができます。英語の授業は、文法を中心に全般的な内容を扱うリーダー、ネイティブの教員が担当する英会話、実践的に進める演習などに分かれます。

部活動や多くの行事などを通して、友人関係を広げ、深めてください。初等科から進学してくる生徒が2～3割いますが、彼らともすぐに仲良くなれます。



高等科
教務課長
久岡 敏郎

高等科のカリキュラムは「入口は広く・探究は深く」の信念に基づき編成されています。

まず高1で国語・数学・英語はもとより、理科は物理・化学・生物・地学の4科目を履修するなど、幅広い必修科目が提供されます。そこで気づいた自分の興味関心・進路志望に合わせ、高2以降は数多くの選択科目を組み合わせ、自分だけの時間割を作ります。そこにいわゆる文系・理系の区切りはありません。高等科で物足りなければ、高3で学習院大学の授業を履修できる制度もあります。高等科のカリキュラムを使って、自分のやりたいことに思う存分打ち込んでもらいたいと思います。

スクールライフ

中等科・高等科の主な年間行事・校外教育



5月
長距離歩行(3泊4日)
中等科2年

2日目と3日目にそれぞれ約20kmの歩行を行います。班ごとに計画を立てて、富士山麓と河口湖畔を歩きます。自然散策をする中で、先生や友人と会話をし、交流を深める貴重な場ともなっています。



6月
クラスマッチ

学年を越えて15クラス対抗の競技がグラウンド2面と野球場で行われます。優勝したクラスには、礼宮(あやのみや)文仁親王(現秋篠宮殿下)より寄贈された優勝杯(礼宮杯)が授与されます。



7月 沼津游泳(希望者参加/3泊4日)
静岡県沼津市にある学習院の宿泊施設を利用して毎年7月21日～24日に臨海学校を実施しています。1年生から3年生までを対象にした希望者参加の行事です。遠泳では、4km完泳を目指しています。

沼津游泳場
沼津市島郷の海岸、沼津御用邸記念公園に隣接する白砂青松の林間に位置する、14棟3,000平方メートルの施設です。夏季には臨海教育施設として利用されるほか、大学のゼミなど年間を通して利用されています。



5月
遠足(中等科1年3年)

9月 運動会

昭和26年に中等科を卒業された義宮(よしのみや)正仁親王(現 常陸宮殿下)より優勝杯が寄贈され、この義宮杯を争奪する形式で行われています。毎年、各チームの3年生が下級生に競技のルールや作戦などを指導していきます。



中等科						
4月 April	5月 May	6月 June	7月 July	8月 August	9月 September	
高等科						

6月 観劇



6月
対筑波大学附属高校総合定期戦(附属戦)
対筑波大附属高校総合定期戦(附属戦)は、長い歴史を持つ日本最古の定期対抗戦の一つです。女子高等科と合同で、3校の各運動部が学校の名誉をかけて競い合います。部活動に所属していない生徒も、応援団やチアリーダーと一丸となって、伝統の一戦を盛り上げます。



7月
ボート大会
高等科2年
埼玉県戸田オリンピックボートコースで、漕艇競技に挑戦する伝統行事。2年生の全員が、オールの握って息を合わせます。高校の行事としては全国的にも珍しいものです。



9月 沖縄研修旅行(3泊4日)
高等科2年
平和学習と自然体験について、1年生からの事前学習を経て、現地での体験を踏まえ、文化祭での発表までを一貫して行います。

10月
林間学校(3泊4日)
中等科1年

1年生が入学して最初に行う宿泊行事です。赤城山登山を中心とした体験活動を行います。都会から離れた自然豊かななかで生活し、集団生活の大切さを学びます。



3月 スキー学校
(希望者参加/4泊5日)
中等科1年2年

斑尾高原スキー場において毎年3月19日～23日に行われています。1年生と2年生を対象にした希望者参加行事です。宿泊人数に限りがあるため、毎年抽選となる人気の行事です。



10月
修学旅行(3泊4日)
中等科3年

学年ごとに生徒と教員で話し合いながら、行き先や内容を決めていきます。1年生から準備を始めている修学旅行は、中等科生活のなかで一番の思い出になります。



3月
ニュージーランド
短期研修
(希望者参加/9泊10日)
中等科2年

国際理解教育のための新たな試みの一つとして、平成21年度より春季休業を利用してニュージーランドの中高一貫校での短期研修プログラムを開始しました。



12月 OBと語る会

2月 芸術鑑賞会

10月
October

11月
November

12月
December

1月
January

2月
February

3月
March

11月
院内大会(球技会)



11月
中・高等科鳳凰祭(文化祭)

文化部の出番。有志団体も多数出展し、来場者で校内はいっぱいに。留学生による母国の紹介、バンドに吹奏楽に演劇など盛りだくさんです。



12月
柔道納会(3年生クラス対抗)

「柔道の父」とも呼ばれる嘉納治五郎師範はかつて、学習院教頭として奉職しました。これを機に日本の学校として初めて、柔道を正科に採用したのが学習院です。聖地、講道館で授業の成果の集大成を発揮します。派手な投げ技も目を引きますが、「礼に始まり、礼に終わる」など精神的な成長の体現が目的です。

2月
マラソン大会
高等科1年2年



3月
北海道スキー教室(3泊4日)
高等科1年

北海道サホロリゾートスキー場に3泊し、各自のレベルに合わせてスキーを徹底的に練習します。写真はスノーボード班。

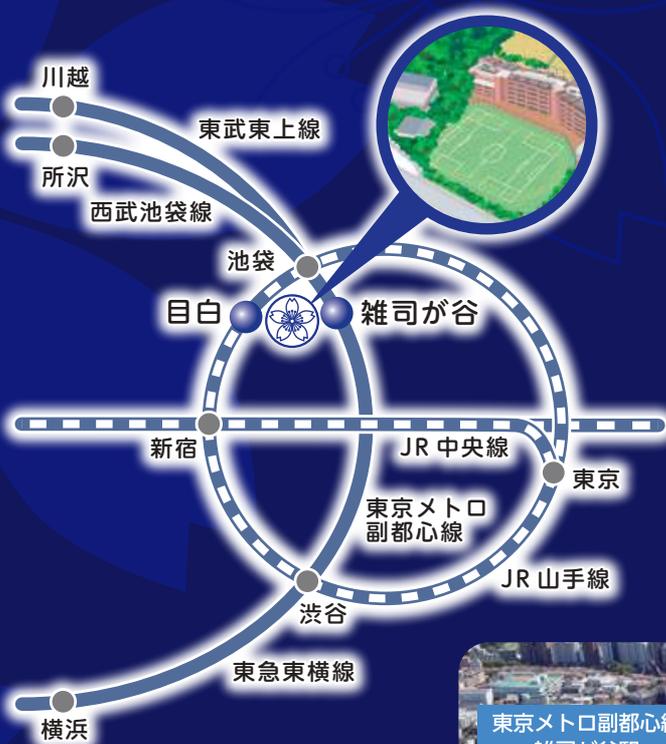
学校施設

中等科・高等科の施設紹介

目白の地に広がる学習院中等科・高等科。大学と共有する緑あふれるキャンパスには、新旧が調和した教育施設があり、中には文化財も含まれます。都心にこれほどの施設を有する例は他にありません。



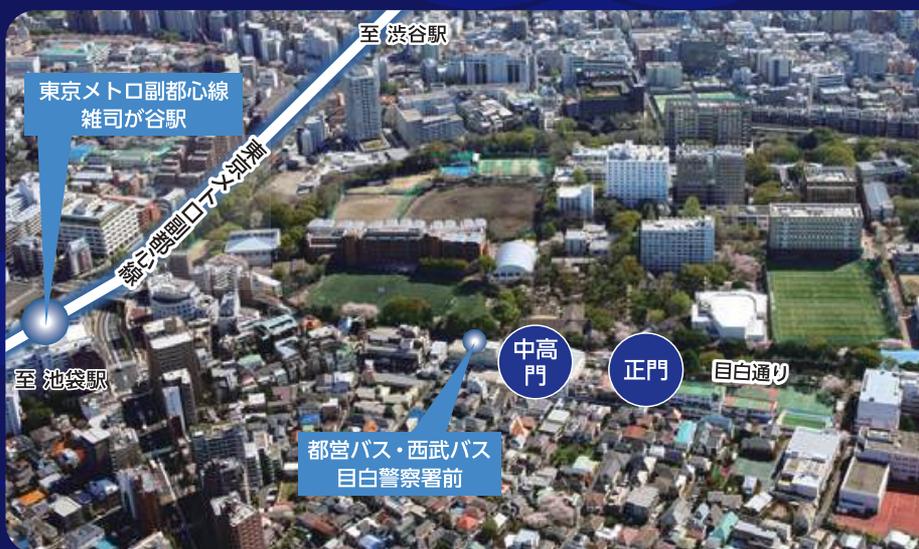
利便性のよい都心にありながら、豊かな緑に囲まれたキャンパスです。



最寄駅からのアクセス

JR山手線
「目白」駅より 徒歩5分

東京メトロ副都心線
「雑司が谷」駅より 徒歩5分



学習院中・高等科沿革

1900年

1847年(弘化4年)
京都御所日御門前に
学習院開講する

1849年(嘉永2年)
孝明天皇より「学習院」の勅額が
下賜され、正式名称となる

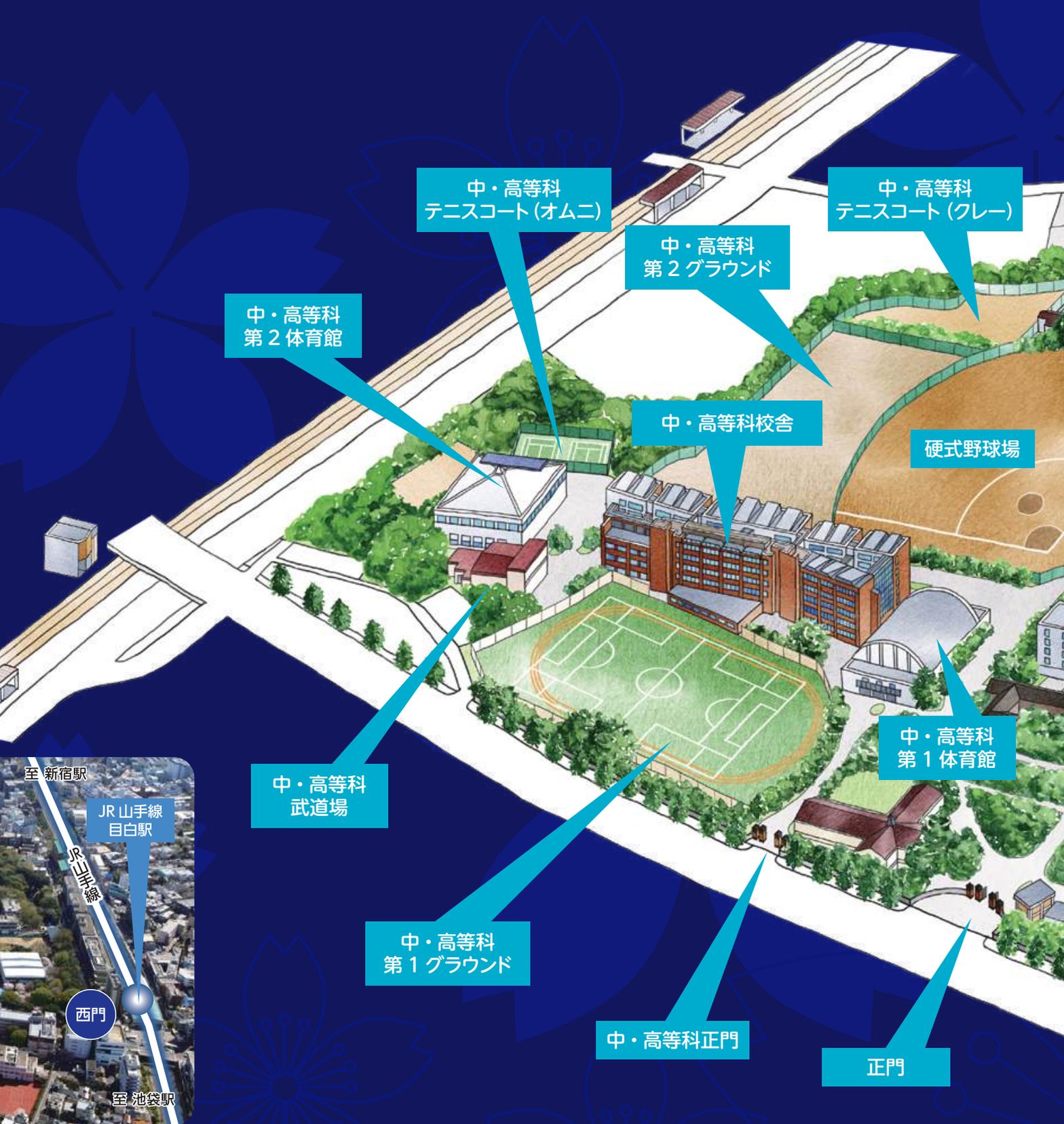
1877年(明治10年)
神田錦町に私立の華族学校が創立される
10月17日に明治天皇・皇后両陛下下親臨のもと開業式が行われる
勅諭により「学習院」の名称が定まり、後に勅額が再び下賜される
現在の学習院はこの時をもって創立としている

1885年(明治18年)
男子のみの教育を行う
こととなる(前年華族
子女のための官立学
校が新たに創立される
ことになったため)

1884年(明治17年)
宮内省所轄の官立学校となる

1919年(大正8年)
初等学科、中等学
科という名称から現
在の「初等科」、「中
等科」になる

194
財団
合体
新制



2000年

1946年(昭和21年)
 宮内省から離れて私立学校となることを決定
 中等科は戦災のため目白を離れ、1、2年生が
 小金井に移る

1947年(昭和22年)
 学校法人学習院による新しい経営が始まり、学習院と女子学習院は
 して一つの私立学校となる
 の中等科・女子中等科を開設し、初等科は男女共学を実施する

1951年(昭和26年)
 学校法人学習院となる

1977年(昭和52年)
 明治10年より数えて創立100周年を迎える

1948年(昭和23年)
 新制の高等科・女子高等科を開設する

1998年(平成10年)
 中等科・高等科の新校舎が
 完成する

2000年(平成12年)
 中等科・高等科1クラス40名の
 5クラス体制が整う

1978年(昭和53年)
 学習院創立百周年記念式典を挙げる

洋弓場

馬場

ゴルフ練習場

東1号館
(大学図書館)

学習院創立百周年
記念会館

西門

2010年(平成22年)
第1回中等科ニュージーランド短期研修
が行われる

2004年(平成16年)
第1グラウンドが人工芝化される

2002年(平成14年)
明治10年より数えて創立125周年を迎える
学習院創立百二十五周年記念式典を挙げる

伝統の中でおおらかに

さまざまな自分の可能性を見つけ、
豊かな個性を育むことができます。

考える、

また考える、さらに考える

充実した教育環境の中で自身の考えを
深めていくことができます。

生涯の友と

のびのびとした学校生活をおくる中で、
行事やクラブ活動を通して多くの友だちを
つくることができます。



中・高等学校舎と人工芝の第1グラウンド



緑の小径、語りいながら目白駅へ向かう下校風景



正門、春には見事な桜が新入生を迎える



1,100名余が収容可能な
創立百周年記念会館の正堂



中高門から校舎へと向かう小径



中高大の野球部が共有する野球場



季節感のある構内の通学路



大学生たちと練習に励む馬術部員、歴史ある厩舎では馬のお世話も日課



水面に映る紅葉が美しい「血洗いの池」



14



第1グラウンド

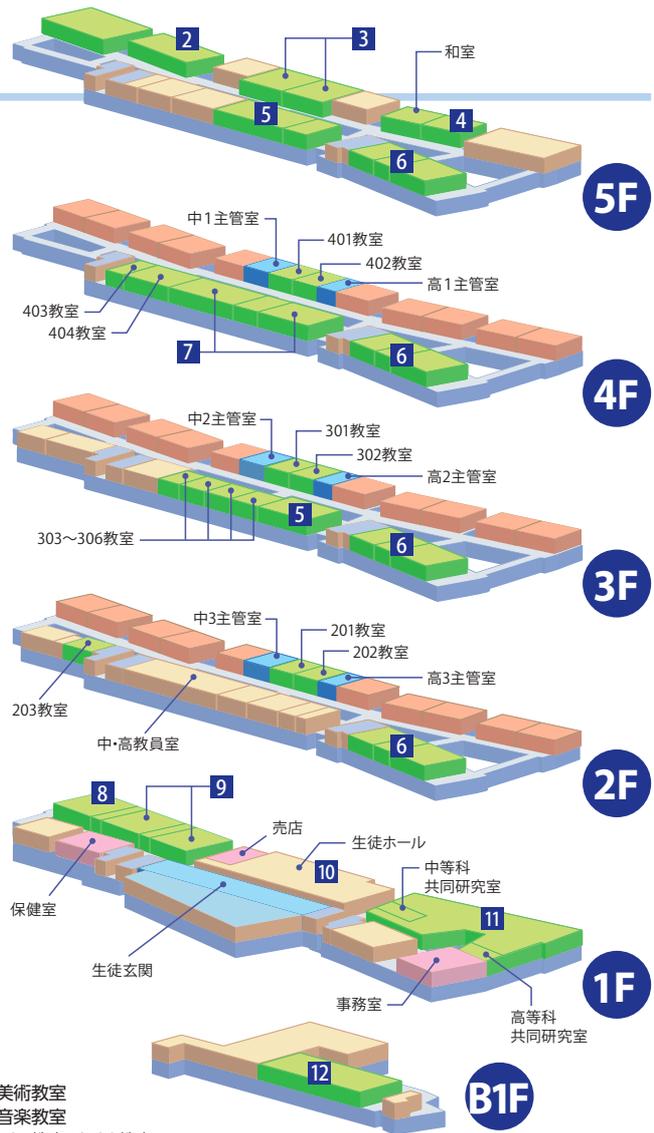


15

第2グラウンド



16



- 1 美術教室
- 2 音楽教室
- 3 501教室 / 502教室
大型スクリーンと各種AV機器を備えた多目的教室です。200名以上を収容できます。
- 4 503教室
中等科の習字と高等科の書道の授業で使用します。
- 5 技術・家庭教室
- 6 理科教室
物理、化学、生物、地学、それぞれの科目に実験室と講義室が備わり、合計8室の理科教室があります。
- 7 社会科教室1 / 2
大型スクリーン・電子黒板と各種AV機器を備えています。
- 8 マルチメディア教室
英語の授業や多目的な用途で使用できる教室です。
2025年に改修。可動式の机と椅子が使われ、様々な形態で利用可能な教室です。
- 9 コンピューター教室A / B
それぞれの教室に生徒個人用 44台を配置しています。
- 10 生徒ホール(食堂)
250席の食券制食堂。中学1年から利用可能です。
中等科生は事前のお弁当注文も可能。
- 11 図書室
約11万冊の蔵書を誇る図書室です。雑誌・CD・DVDも充実しています。
- 12 標本保管室
約8千点の標本があり、博物館学的にも貴重な標本が並びます。
- 13 第1体育館 / 第2体育館
2つの体育館があります。第1体育館の2階はウェイトトレーニング場になっています。
第2体育館の1階は温水プール(25m・6コース)、2階は体育館です。
- 14 武道場
柔道公式試合場1面約70畳、2階は中等科運動部部室になっています。
- 15 第1グラウンド / 第2グラウンド
第1グラウンドは300mトラックがとれる人工芝のグラウンド、第2グラウンドは土のグラウンドです。
- 16 テニスコート
オムニテニスコート(2面)とクレーテニスコート(2面+シングルスコート1面)

課外活動

中等科・高等科の運動部・文化部・同好会

学習院には、幼稚園から大学まで一貫した輔仁会という組織があります。輔仁会は中等科支部組織と高等科支部組織に分かれ、いずれも生徒は希望に応じて運動部・文化部・同好会に所属し、活動しています。また、委員会活動も、代表会（中等科）・総務委員会（高等科）などを通じて活発に行われています。



中等科

【運動部】

剣道、硬式テニス、古武道*、サッカー、柔道、水泳、卓球、バスケットボール、バレーボール、野球、ラグビー、陸上競技

【文化部】

囲碁将棋、演劇、音楽、写真、生物、地学、鉄道研究、美術、物理化学、歴史研究

【同好会】

アマチュア無線、弦楽、航空、釣

高等科

【運動部】

アーチェリー、剣道、硬式野球、ゴルフ、サッカー、山岳、柔道、水泳、スキー、漕艇、卓球、テニス、馬術、バスケットボール、バレーボール、ホッケー、ラグビー、陸上

【文化部】

演劇、化学、史学、写真、新聞、吹奏楽、生物、地学、美術、文芸

【同好会】

囲碁将棋、社会問題研究会、書道研究会、地理研究会、鉄道研究会、フォークソング



生徒の声



中等科 3年
ラグビー部主将
武田 知久

こんにちは、学習院中等科ラグビー部主将の武田です。学習院中等科には合計で26個の部活がありそれぞれの部活が日々目標に向かって切磋琢磨しています。私が所属しているラグビー部は月・水・金・土曜日の週4日、29名で活動しています。月曜日は第一グラウンド、その他の曜日は第二グラウンドで練習をしています。ラグビー部は未経験の人でも大歓迎です！なぜならラグビー部に所属している部員のほとんどが初心者だからです。しかし、日々の練習で上級生やコーチ、高等科との交流により皆上達がとても速いです。実際にスポーツ経験のなかった部員も試合に出て活躍しています。また、上級生と下級生の仲が良くアットホームなところもラグビー部のいいところです。スポーツ経験がないにかかわらず、中学生になって何か新しいスポーツをやってみたいと思ったら是非チャレンジしてみたいです。

また、中等科には運動部のほかにも文化部や同好会など様々な部活があり、兼部もしやすいです。実際、私はラグビー部のほかにも釣り同好会にも所属しています。釣り同好会では月に一度釣行を行っており、顧問の先生方、大学生のコーチやOBの方などが丁寧に教えてくれます。このように中等科の中だけではなく高等科・大学の先輩やOBの方などと交流できる機会がたくさんあるのも学習院中等科の魅力です。

部活の種類は豊富なのでなにか興味のある部活があれば是非参加してみてください！皆さんと会える日を楽しみにしています！



高等科 3年
ホッケー部主将
柚木崎 翔太

高等科ホッケー部主将の柚木崎です。ホッケー部は高等科からある部活で、全員が初心者からのスタートなので、新しいスポーツを始めたい、同期のみんなと一緒に成長していきたいという人におすすめです。また、ホッケーはマイナースポーツなので、他のスポーツよりも上を目指しやすいです。実際に学習院のホッケー部も全国大会に出場した経験があります。この全国大会出場を目標に週5日、主に第二グラウンドで練習をしています。遠征や合宿も多くあり、チームメイトとの仲を深めることもできます。一緒にホッケーができる日を楽しみにしています！

国際交流

留学制度や国際交流について

中等科ではニュージーランド短期研修、高等科では協定留学制度と公認留学制度を設けるなど、海外で学びたいと希望する生徒を支援しています。また国際交流を支援する団体の要請によって、毎年5名程度の外国人留学生を高等科が受け入れています。留学生向けの特別授業のほか一般の授業、行事にも参加し、日本語や日本文化を学び、また高等科生とともに学校生活を楽しくしています。



協定校 (St. Paul's School)

米国メリーランド州ボルチモアにある私立学校 St. Paul's School とは30年以上の交流があり、生徒交換、教員交換を行っています。同校の先生が数学、心理学、英文学、木工等の出前ワークショップを行ったり、同校生徒最大2名が1学期(4ヶ月)間高等科に滞在します。

公認留学*

所定の申請に基づいて外国の高等学校へ原則1年間留学する制度です。帰国後、留学の成果が認定されれば、留学の単位として30単位を与えて留学期間の学年を修了したものとみなし、出国時の学年より一つ上の学年に編入が認められます。

*公認留学については、下記ホームページを参照 <https://www.gakushuin.ac.jp/bsh/education/international/index.html>

学習院は、世界に羽ばたく生徒たちの未来を応援します

語学教育センターの特別プログラム

学習院では、女子大学の語学教育センターが中心になって、小・中・高・大学の垣根をはずし、レベル別・目的別の英語学習支援を行っています。

■英語力養成コース

通年で、「聴く・話す」力を伸ばします。留学準備コースやTOEIC・TOEFL対策コースも設置。

■イングリッシュ・セミナー

夏休み中の集中講座。12のレベル別のクラスが用意されています。

留学派遣生支援プログラム

(中・高等科)

協定校 St. Paul's School から招聘した教員によるワークショップやアカデミックスキル養成プログラムがあります。留学

予定の生徒の留学準備を支援するとともに、留学から帰国した生徒のさらなるスキルアップを行っています。

帰国子弟入学試験（中等科）

1980年度より、海外からの帰国者および帰国予定者を対象に一般の入試とは別の選考で帰国子弟入試を行っています。海外での貴重な体験を有し、特長のある生徒が毎年約15名入学しています。

ニュージーランド短期研修（中等科）

中等科2年生の希望者を対象に、9泊10日の海外短期研修を行っています。ホームステイをしながら現地の中学校で実際の授業を受けます。

ハナ高校との交流プログラム（高等科）

・国際シンポジウムへの参加

7月末に韓国ソウル市にある私立学校

ハナ高校主催の国際シンポジウムに3人1チームとなり最大3チームが参加します。アジア、ヨーロッパから集まった高校生と学生寮で寝食を共にしながら英語でグローバルなテーマについて探求・発表します。

・生徒交換短期プログラム

1月（生徒受入れ）と3月（生徒派遣）に生徒交換をするプログラムです。それぞれの学校で1週間程度、授業や行事、課外活動に参加して学校生活とホームステイを体験します。

その他

国際交流支援団体が行う短期プログラムやオンライン交流会なども紹介し、多くの高等科生が自主的に参加しています。

St. Paul's School セント・ポールズ・スクール

セント・ポールズ・スクールは、アメリカ東部メリーランド州にある通学制の私立学校です。初等部は共学ですが、中等部と高等部は男女別で、全校生徒約800名のうち高等部には約250名が在籍しています。クラスは18人以下、教師1人当たり生徒10人の少人数制です。1849年にボルチモアのセント・ポール教会の教区学校として設立され、現在は歴史あるブルックランド・プランテーション跡地にあります。キャンパスには蔵書2万8千冊の図書館3つ、体育館3つ、芸術センター2つ、礼拝堂などがあります。政治、メディア、金融などの分野で活躍する著名な卒業生を多く輩出しています。



プナホウ高校との音楽交流会

2025年3月、親交のあるハワイのプナホウ高校の生徒が来日し、学習院の男子部と女子部の中・高等科生で構成される管弦楽団の「ユース・フィルハーモニック」が音楽交流会を行いました。有志の生徒や、卒業生なども参加し、親睦を深めました。



生徒の声



【公認留学】

2024年度高等科卒業
イタリアに留学
(2023年7月より1年間)
森川 幸亮

私は、イタリア、ロンバルディア州のオリーオ・リッタに、AFSという留学団体を通じて、10か月間留学をしていました。留学を通じ、私は「言葉が通じなくても、コミュニケーションをとることができ、友達もできる」ということを知ることができました。留学の初めのほうは、イタリア語でコミュニケーションをとることが僕にとってはとても難しく、自分の思っていることを伝えられないということも悔しい経験をたくさんしました。しかし、だんだんと生活に慣れ心に余裕が生まれてやっと友達ができたときは、本当にうれしかったのを覚えています。異なる文化や考え方を持つ人々の中で生活することは、これまでの自分の考えや生活を見直すいい機会になりました。

学習院高等科の大きな強みとして、毎年20名以上の級友が留学していることが挙げられます。また、民間の留学団体を通じた留学ではなく、学習院高等科はアメリカのセントポールズ校との協定留学も行って、多様な留学の選択肢を得ることができます。留学先での十分な成果が認められれば、留年せずに自分の学年に復学することができます。そして、学習院では、他国からの留学生の受け入れを行っている、様々なワークショップもあるので国際交流の場がたくさんあります。国際交流を通じて世界中に友人を作りましょう。



【留学生】

フィンランド出身
(2023年9月より1年間)
オーッコネン・トゥオマス

交換留学生として高校でとても良い経験をさせていただきました。高等科はとてもアットホームな雰囲気、新しい友達もたくさんできました。

ハイライトの一つは沖縄への修学旅行と北海道でのスキー研修旅行でした！また、文化祭では、私たち留学生は古典落語「寿限無寿限無」や能の舞を披露しました。

クラブ活動に参加したり、放課後友達と遊んだりしてとても楽しかったです。

私が困難に直面したときはいつでも、先生たちはすぐに私をサポートしてくれました。学習院高等学校での日々を振り返り、素晴らしい思い出と経験をさせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

進学

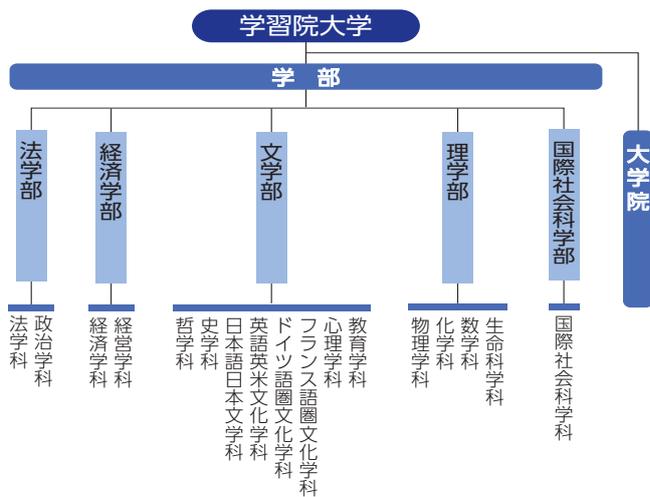
中等科・高等科の進学状況

進学においては、中等科・高等科ともに生徒が個性を伸ばし、目標とする進路に進めるように配慮しながら指導を行っています。基準を満たしたほとんどの中等科の卒業生は、高等科へ進学しています。高等科の卒業生は、学習院大学あるいは希望により他大学に進学します。学習院大へ進学した場合、ほぼすべての生徒に対して希望する学部・学科への道が開かれています。

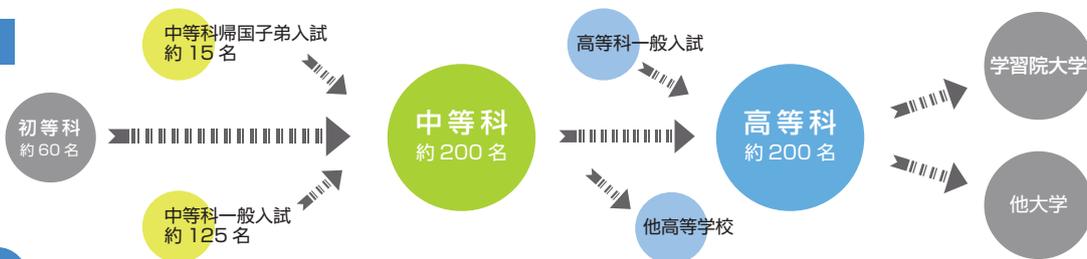
学習院大学

自ら学びとる意思と力をはぐくむ、5学部17学科

学習院大学は、4年間同じキャンパスに全学部全学科が設置されており、学年や学部により別々のキャンパスということはありません。各学部・学科とも、最先端の研究に携わり「その分野の第一人者」として社会から高い評価を得ている教員が行う、質の高い講義が展開されています。また、約7割の授業が1クラス40名以下の少人数制授業となっています。ゼミや演習なども多く、一人ひとりに目の行き届いた指導を受けることができます。



進学の流れ



生徒の声



慶應大学1年
商学部
大野 稜馬

高等科生に「学習院高等科の一番の魅力は何か?」と聞くと、「自由」という答えが大半を占めるでしょう。私も学習院高等科の一番の魅力は「自由」だと思います。実際、学校の中でスマホの使用が許されていたり、髪色・髪型が縛られていなかったりと、我々には数多くの自由が与えられています。このように聞くと、「自由」が勉学に支障をきたす原因になってしまうのではないかと考える方も多いのではないのでしょうか。私も入学時までそう思っていました。しかし、高等科で生活していく中で「自由」には「責任」が伴うということを全員が自覚します。だらけて遊んでばかりいると自分の成長に微塵も繋がらないということを自分の身で体験するので、自分の行動を見つめ直すようになるのです。つまり、自分の行動がその場にふさわしいものかを考え、自分の中で遊びと勉学の境界線を引くことができるようになります。そのため、「自由」が勉学を妨げることはなく、より自分に合った生活を過ごせるようになります。

また、環境が抜群に良い学習院高等科では様々な体験をすることができます。私の場合は部活に熱を注ぎましたが、周りの同級生は留学、勉強、趣味、バイトなど全員が思い思いの有意義な時間を過ごしていました。これは挑戦することをサポートしてくれる先生方や心優しい友達がいるからこそできる経験だと思います。3年間を通して充実した豊かな経験をさせてくれた高等科には本当に感謝しています。

自分に合った高校を決めることは本当に難しいと思いますが、学習院高等科には3年間を充実させる環境、行事、友人、先輩、そして先生方が揃っています。ぜひ学習院高等科で自分のやりたいことを探求し、一生忘れない青春を謳歌してください。



学習院大学1年
経済学部
神田 竜昌

学習院高等科の大きな特徴は「自由な校風」です。スマホの持ち込みは勿論のこと、髪型や髪色も自由です。このような生徒の個性を尊重する校則になっているのは、学校側が生徒の自主性を重視し、信頼しているからです。そのお陰で、生徒はそれぞれのペースでのびのびと学校生活を送ることができます。

しかし、気を付けなければいけないのは自由には責任が伴うということです。私はこの学習院高等科での学校生活を、大学や社会に出るまでの予行演習だと思っています。高校生の段階で自由を知り、早めに様々な体験をして自立していく事は非常に重要だと思います。

私も高等科に入学した頃は羽目を外し過ぎましたが、そこから自分なりに自由について考え修正できた事により、今では自由を上手く活用できるようになりました。

個人の個性が尊重されながら、クラスという集団で上手くまとまっているのが学習院高等科です。この場所で自身の発見や経験を糧にし、皆さんがより豊かな高校生活を歩むことを願っています。

2025年 学習院大学推薦 (実数)

学部	学科	人数
法学部	政治学科	27
	法学科	11
経済学部	経営学科	30
	経済学科	6
国際社会科学学部	国際社会科学科	24
文学部	史学学科	1
	日本語日本文学学科	1
	フランス語圏文化学科	1
	心理学科	2
	教育学科	3
理学部	物理学科	3
	数学科	3
	生命科学科	2
合計		114

2025年 指定校推薦枠による進学 (実数)

大学	学部	人数
慶應義塾大学	商	2
	法	2
	理工	2
上智大学	総合グローバル	1
	法	2
早稲田大学	基幹理工	1
	創造理工	1
	先進理工	1
中央大学	法	2
東京理科大学	理(第一部)	1
	創域理工	1
昭和大学	歯	1
東京歯科大学	歯	1
合計		18

※指定校推薦枠があっても進学する生徒がいなかった大学・学部名は記載していません。

2025年 国公立大学合格実績

※推薦含む

国公立大学 (総人数)	学部	現役	浪人
千葉大学 (4)	医	1	0
	工	2	0
	法政経	1	0
京都大学 (1)	工	0	1
信州大学 (1)	理	1	0
東京大学 (1)	理科2類	1	0
東北大学 (1)	工	0	1
新潟大学 (1)	医	1	0
東京都立大学 (1)	システムデザイン	0	1
防衛大学 (1)	人文社会科学	1	0

2025年 私立大学合格実績 ※推薦含む

私立大学 (総人数)	学部	現役	浪人	
慶應義塾大学 (15)	経済	1	1	
	商	2	0	
	文	1	2	
	法	3	0	
	薬	1	0	
	理工	2	0	
	総合政策	1	0	
	環境情報	1	0	
	中央大学 (10)	経済	1	0
		法	6	0
理工		1	0	
国際情報		1	0	
文		1	0	
早稲田大学 (10)	基幹理工	3	0	
	政治経済	1	0	
	先進理工	2	1	
	創造理工	1	0	
	法	1	0	
青山学院大学 (9)	人間科	1	0	
	法	3	0	
	理工	1	0	
	国際政治経済	1	0	
	社会情報	1	1	
上智大学 (9)	総合文化政策	2	0	
	経済	2	0	
	国際教養	1	0	
	法	4	0	
	理工	1	0	
東京理科大学 (9)	総合グローバル	1	0	
	経営	1	0	
	工	3	0	
	薬	1	0	
	創域理工	2	0	
明治大学 (9)	理学部第一	0	1	
	理(第一部)	1	0	
	経営	1	0	
	工	1	0	
	政治経済	1	0	
	文	0	1	
	理工	3	0	
	総合数理	1	0	
	農	0	1	
	日本大学 (6)	医	1	0
経済		1	0	
法		1	0	
生産工		1	0	
松戸歯		1	0	
国際関係	1	0		
私立大学 (総人数)	学部	現役	浪人	
	近畿大学 (5)	医	1	0
		産業	0	1
		生物	0	3
	国際基督教大学 (4)	教養	4	0
		経済	2	0
	法政大学 (4)	法	1	0
		国際文化	1	0
		文	0	2
	龍谷大学 (4)	法	0	1
国際		0	1	
農		1	0	
東京農業大学 (3)	生物産業	2	0	
	医	2	0	
順天堂大学 (2)	工	1	0	
千葉工業大学 (2)	情報変革科	1	0	
	医	1	0	
帝京大学 (2)	教育	1	0	
	医	2	0	
日本医科大学 (2)	文	0	1	
	法	1	0	
立教大学 (2)	歯	1	0	
岩手医科大学 (1)	文	0	1	
学習院大学 (1)	理	1	0	
神奈川大学 (1)	医	0	1	
北里大学 (1)	法律	0	1	
京都産業大学 (1)	医	1	0	
杏林大学 (1)	法	0	1	
神戸学院大学 (1)	医	1	0	
国際医療福祉大学 (1)	医	1	0	
慈恵医科大学 (1)	工	1	0	
芝浦工業大学 (1)	歯	1	0	
昭和大学 (1)	法	1	0	
成蹊大学 (1)	工	1	0	
東京工科大学 (1)	歯	1	0	
東京歯科大学 (1)	情報デザイン	1	0	
東京情報デザイン専門職大学 (1)	理工	1	0	
東京農工大学 (1)	工	1	0	
東邦大学 (1)	医	1	0	
名城大学 (1)	農	1	0	

海外大学

海外大学	現役
Santa Monica College	1
University of California, Irvine	1
University of California, Santa Barbara	1

(2025.3.28現在)

連携・Q&A

生徒と教職員と家庭の連携／学習院 Q&A

多感な中・高6年間。常に生徒たちの心を育て、ケアをする体制が整っています。



学年主管の役割

学習院では、クラス担任を「主管」と呼びます。これは、単にクラスを担当する役割にとどまらず、学年全体を見守り、主管同士がチームとして連携して生徒を支える役割を重視しているためだと認識しています。教員も、それぞれの個性を活かしながら、時に助け合いながら生徒一人ひとりに寄り添った教育を行えるようにしています。

それぞれの学年の同じ階には「主管室」が設置されており、これが学年ごとの教員室となります。大教員室とは別に主管室を設けることで、きめ細やかで迅速な対応が可能となっています。

進路や学業の質問、ひいてはさまざまな生活の上での悩み事にも、自分のクラスの主管に限らず、複数の視点から丁寧に対応します。



▲放課後の主管室の様子



生徒の声



中等科 3年
生徒会長
田和 和孝

学習院中等科はとても環境に恵まれていると思います。山手線や副都心線、都電荒川線など路線に恵まれており、好立地なため通学がしやすいです。加えて都内有数の自然が多い環境で都会の喧騒を気にせずに学校生活に集中できます。またこの学校には室内温水プール、人工芝や土のグラウンド、野球場やテニスコートなどの多くの施設が充実しており、各自のやりたいことに合わせて体をのびのび動かすことができます。

中等科は男子校ということもあり、はじめは抵抗感がありますが、やさしく、ユニークなベテラン先生による楽しい授業や、個性豊かな友人たちにより、のびのびと女子の目を気にすることがなく自由に生活することができます。また、中等科は校則が厳しいと思われがちですが、入学してみると意外に厳しさを感じることはありません。

中等科の授業では少し専門的で難しい内容をやるがありますが、先生方にやさしく、わかりやすく教えていただくことができ、時には友人同士で教え合うということもあります。ほとんどの生徒がそのまま高等科に進学するため、友人と仲をより深めることができ、学習にも余裕が生まれます。そのため、自分の趣味や部活動などに時間を使うことができます。これらが中等科の魅力です。

中等科に入学すると優しく楽しい先輩方や仲間たちと自由に学校生活を過ごすことができます。ぜひ、学習院中等科で楽しい三年間を過ごしてみませんか。



高等科 3年
総務委員長
楊 弘毅

高等科の特色を一言で表すと、まさしく自由と呼べます。様々な個性を持った生徒が、個性をしましこむことなく、十分に発揮できる環境が備わっていると言えます。

壮大で緑豊かなキャンパスの中で、体育館や人工芝の両方を備えたグラウンドをはじめ、室内プールやジム、野球場、テニスコート、さらにはゴルフ場や射的場、馬場に至るまでの充実した施設が揃っており、生徒が個性を発揮するにはこれ以上ない環境が揃っています。

また、今日、各高校で受験を見据えた教育を行う中、高等科では、学問とは何かという根本に立ち返り、一人一人が学びたいことに合わせて広く深く探求しております。附属校独自の大学との交流も活発で、高校だけでなく、将来も見据えた教育が施されていると感じます。

幅広い交友関係も大きな特徴です。本校では、幼稚園、初等科、中等科、高等科からの異なった環境で育った人どうしの交流が必ず生じます。これによる新しい価値観の受容や、視野の転換は必ず今後の人生に彩りを与えてくれることでしょう。さらに、附属戦実行委員、鳳樓祭実行委員、総務委員を通じて、これらの生徒各々が主体となって学校を作り上げており、各団体による他校との交流や、本来であれば生徒が到底関わるることのできない予算や学校方針についての話し合いにも参加できるのも一つの特徴といえます。

このように、単に学業のみにとらわれることなく、生徒が中心となって主体的に考え、個性を多岐にわたる分野で発揮できる機会があるのが高等科に在籍する最も大きな利点であると感じます。高等科で過ごす三年間が人生に彩りを与え、充実した日々となることは間違いありません。以上を持ちまして、少しでも高等科に興味を湧いていただければ幸いです。

カウンセリングルーム

学習院中高等科では、臨床心理士・公認心理師の資格を持ったカウンセラーが生徒や保護者の相談にあたっています。学校生活を送っていく中で、何か困ったことや心配なこと、相談してみたいことがあれば、気軽にカウンセリングルームにいらしてください。

カウンセリングルームを利用したことや話した内容について、相談者の許可なく教員やご家族に伝わることはありませんので、安心してご利用ください。

悩みや相談の解決に役立つと思われるときには、相談者のご了解を得た上で、先生方や外部の専門医療機関と連携して対応しています。

相談のご予約は保健室で受け付けています。基本的に予約制ですが、予約状況により当日のご相談も可能です。



家庭



保護者会

各学年の初めに、各クラスから3名の幹事を選出します。クラス幹事は、クラス懇親会を企画したり、保護者から出された様々な問題を主管と話し合うなど、学校と家庭とのパイプ役を担っています。

学校生活や行事について、学校からの連絡を伝える学年の保護者会が各学期にあります。

また、主管と日常生活や学業などについて話し合う保護者面談が、年に2回あります。



▲学年保護者会の様子 (501・502 教室)

学習院 Q & A

学校説明会や保護者面談などの場で、保護者のみなさまから質問されることが多々あります。

ここでは、その中から代表的な質問・疑問にお答えします。

Q 学習院初等科出身者と中等科入学者との人間関係は？ 保護者の場合は？

A 中等科に入学してから初等科出身者とうまくやっていたという不安を持つようですが、「その心配は全くなかった」というのが聞いた限りの在校生すべての答えでした。教員も全く区別を意識したことはありません。むしろ初等科出身者は6年間付き合ってきた友達にさらに新しい友達ができることを楽しみにしているようです。クラブ活動、宿泊行事などを通してすぐに親しくなっていくのが子供のようです。

保護者同士の場合は「入学前の心配がうそのようだった」というのが結論でした。「保護者懇親会、試合の応援などを通して仲良くなり、学習院の情報をいろいろと得られる」また、初等科出身の保護者にとっては「受験経験の話がとても参考になる」ということでした。

Q 公認留学制度について教えてください

A 公認留学とは、所定の申請に基づいて外国の高等学校へ原則1年間留学する制度です。留学の成果が十分に上がったと認定されれば、留学の単位として30単位を与えて留学期間の学年を修了したものとみなし、出国時の学年より一つ上の学年に編入が認められます。また、留学支援団体の要請によって、毎年3～4名の外国人留学生を高等科が受け入れています。留学生向けの特別授業のほか一般の授業、行事にも参加し、日本語や日本文化を学び、また高等科生とともに学校生活を楽しんでいます。

Q 公表された納付金以外に必要な費用が多くかかりますか？

A クラブ活動費（合宿参加費用など）が、また中等科では希望者参加の「臨海学校」、「スキー学校」、「東北自然体験」、「ニュージーランド研修」の費用が、それぞれ参加される場合にのみ追加されると考えてください。全員参加の行事費用などは全て納付金に含まれています。

Q 生徒の通学圏について教えてください

A 都内はもちろん神奈川県、千葉県、埼玉県などの隣接する諸県から通学する生徒も多くいます。時には宇都宮や小田原から通学する生徒もいますが、通学に要する時間はだいたい片道1時間程度の人が多いようです。

Q 不登校はありますか？ また、その場合はどのように対応をとっていますか？

A 不登校は残念ながら皆無というわけではありません。一人一人が異なった問題を抱え、同じ理由によるものではありません。しかし保護者の方とも十分話し合い、カウンセラーにも適切なアドバイスをおおぎながら、その生徒にとって最善の道を教員全員で考える体制をとっています。

INFORMATION 2026年度

2026年度学校説明会など／中等科・高等科のホームページ

2026年度 中等科・高等科の学校説明会・試験・公開行事

中等科

- **学校説明会 ①** (一般／創立百周年記念会館)
2025年 5月 31日(土) 14:00～
※説明会後に校内見学ができます。
- **学校説明会 ②** (一般、帰国子弟／創立百周年記念会館)
2025年 7月 12日(土) 9:30～
※説明会後に校内見学ができます。
- **入試説明会** (一般、主に6年生対象／創立百周年記念会館)
2025年 11月 8日(土) 14:00～
※説明会後に校内見学ができます。 ※帰国子弟対応の入試説明会は行いません。
- ❖ **帰国子弟入学試験**
2025年 12月 4日(木)
- ❖ **一般入学試験**
第1回 2026年 2月 2日(月) 第2回 2026年 2月 3日(火)

高等科

- **学校説明会** (一般／創立百周年記念会館)
2025年 10月 4日(土) 14:00～
※詳細は高等科ホームページでご案内いたします。 ※学校見学も行います。
- ❖ **一般入学試験**
2026年 2月 14日(土)

公開行事

- **中等科授業体験会**
2025年 5月 10日(土) 14:00～
- **中等科運動会** (中・高等科第1グラウンド)
2025年 9月 27日(土) 雨天時は9月28日(日)に延期
- **中・高等科鳳櫻祭(文化祭)** (中・高等科校舎、体育館など)
2025年 11月 1日(土)、11月 2日(日)
※入試個別説明コーナーがあります。
- **中等科クラブ体験会** (中・高等科校舎、体育館、グラウンドなど)
2026年 3月 28日(土) 10:00～
- **音楽部定期演奏会**
2026年 3月下旬

説明会・公開行事はWebでの参加予約が必要です。
日程は変更になる場合があります。
ホームページにて最新の情報をご確認ください。

学習院 中等科・高等科のホームページ

学習院中等科・高等科の教育内容については、学校法人・学習院のホームページからご覧になれます。掲載しきれなかった Q&A コーナーをはじめ、多彩なコーナーを設けてありますのでご参照ください。
<https://www.gakushuin.ac.jp>

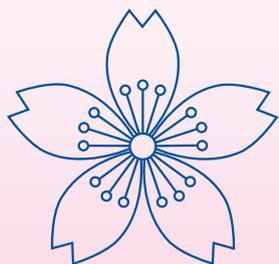


中等科 HP ▶



高等科 HP ▶





学習院 中等科
高等科

〒171-0031 東京都豊島区目白 1-5-1
TEL 03 (5992) 1032
<https://www.gakushuin.ac.jp/>